一緒に働いていただける仲間を募集しています





隠岐広域連合立 隠岐病院長 隠岐の島町城北町

る た

ま方たるつめ剤にする。「た、師勤 ったべ ご今紹場確な務 協後介合保 どする お 問 力の手 木 隠数1難確看 隠い 岐 情岐料名職保護 合 広せ 報の 」に種困師 域 先 の医制付者難 提療度きを職保 供をを1紹種健 を守新0介者師 おる設万しを 願たい円 確助 いめたを採保産

連

合

0

8

5

1

2

6

9

1 5

0

ま

い皆し交用す師



のな当い剤 方状 して師 は況がもに働「産護を を支改ついあ師職行当 給善いてかの不っ院 知理ささていり不足てで ら解れれもたし 足がも せいる、同だのに深、頂たよ現様け維つ刻十 、同だのに深 きま だう在のる持いな分年 に、状「・で課な看 、状っ 課な看 当っ額が間続深と充師 よう 院 て 5 続 し刻なが お万いがてと っ得助 のり円で早いな なり のお急く のおれ師 願 勤まのお急 い務す りにたてりず を希 離ま必めおま 要による り、。性健 にない。性師 島す 。では 望さ 薬 ま らす。 剤薬す一助特的の 師 剤 ҈緒産にな募 医 師 に科助看集 る

療の

う手つ薬

えをごう この事場に、 なのよと、

存よ者に

<平成 26 年度の隠岐病院における出産統計>

隠岐病院では、島外分娩を余儀なくされた時期がありましたが、平成23年4月から初産婦の分娩や帝王切開も再開し、里帰り分娩も制限することも無く、院内助産(助産師のみの分娩)システムと産婦人科医師立ち会い分娩の2本柱で分娩を行っています。

1. 助産科分娩と産婦人科分娩

- 1)分娩数:平成 26 年度の分娩数は 123 で、助産科分娩 37 名、産婦人科分娩 86 名でした。初産婦 42 名 (34.1%)、経産婦 81 名 (65.9%) で、平均年齢は 30.6 歳 (最低年齢 21 歳、最高年齢 43 歳)、35 歳以上の高年初産は 8 名 (6.5%) でした。
- 2) 児の性別: 男児 53 名 (43.1%) 女児 70 名 (56.9%) で、平成 26 年度は女児が多く産まれました。
- 3) 出産体重: 平均出生体重は 3049g (最小: 2086g、最大: 4044g) で、2500g未 満の低出生体重児は 9名(7.3%)でした。
- 4) 分娩週数:36 週2名(2.0%)、37 週が8名(7.0%)、38 週が34名(28.0%)、39 週が38名(31.0%)、40 週が28名(23.0%)、41 週が13名(11.0%)、42 週0名でした。
- 5) 里帰り分娩:24名(19.5%)でした。

助産科と産婦人科の分娩数

	19-22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
助産科	154	30	42	35	37
産婦人科	4	53	78	86	86
合計	158	83	120	121	123



2. 島外分娩

当院で妊婦健診を受けた妊婦さんの 26 名が島外で分娩されており、その内訳は、母体搬送 4 名、島外へ里帰り等 20 名、島外分娩の適応 3 名でした。

産婦人科医師が 替わりました。



いしばし ともか石 橋 朋佳

7月から9月までの3ヶ月間の短い期間ですが、宜しくお願いします。

	19-22	23 年	24 年	25 年	26 年
	年度	度	度	度	度
母体搬送	22	8	3	5	4
紹介	69	3	16	17	20
島外分娩	318	22	2	0	3
合計	409	33	21	22	26

3. 経腟分娩と帝王切開分娩

123 名の分娩のうち、経腟分娩は 94 名 (76.4%)、 帝王切開分娩は 29 名 (23.6%) で、25 年度の帝 王切開分娩 18.2%より増加しました。

熱中症に要注意

恐中症の予防法

とっ で す 暑 中 さ 症 を \mathcal{O} 予 避 防 け ること」 に は 水水 分 が 大 補 切 給

水分。塩分補給

こま こま ど め 0 8 渇 高 な な きを感じなくても 齢 水 水 分 · 分補 者、 子 給をしてくだ 塩 ども 分補 \mathcal{O} 給 場 合、

熱中症になりにくい室内環境

- 度 扇 調 風 整 機 が Þ 必 工 アコ 要 へです。 ン 、 を 使 0 温
- 室 温 が まめ 大切 す 上 だ が (です) りに ħ な 換 気、 打 < ち 1 環 水 遮 な 光 境 力 \mathcal{O} \mathcal{O} 確

体調に合わせた対策

こまめな体温測定(特に体温



者、子ども) 調節機能が十分でない高齢

- < 衣 通 ださ 服 気 を着 性 \mathcal{O} 用 良 す るよう 吸 湿 心 速 が け 乾 7
- す。 どに 保 冷 剂、 ょ る 氷、 体 0 冷 冷 却 ŧ タ 大 オ 事 ル な で

外出時の注意

- 日傘や帽子の着用
- 陰の利用、こまめな休憩

日

- 衣服着用の良い、吸湿・速乾の
- う 天 出 気 \mathcal{O} で 良 き 1 るだけ 日 は 昼 控え 下 が ま ŋ \mathcal{O} 外 ょ



けたら… 熱中症が疑われる人を見

か

一、水分・塩分を補給する一、衣服を脱がせ体を冷やす、涼しい場所へ避難させる



・お願いしたいこと注意していただきたいこ

ح

です! 高齢の方は特に注意が必要

1

お 対 高 中症 り、 こま す 齢 者 0 者 る感覚 **分** 渇きを 暑さに 患 は 者 + 暑 \mathcal{O} 水分補 五. さや 機 感じていなく 対 およそ半 歳 て 能 する 以 水 が 上 給したり、 ま 低 分 体 下 不 0 数 で す。 調 し 足 は 節 7 に 高

- 2 工 ま Ξ る T わりが協力 ように心 コ を 感じ を 使 な が < 0 け て て て、 ま 温 t 度 扇 中 ょ 調 風 · 症 う 節 機 予 P を
- 切です。 防を呼びかけ合うことが大まれりが協力して 繁中症予
- 特に、 ことが カゝ < 一人ひとり 、ばり、 け合うことで、 熱中症 できま 中 が す。 症 周 0) \mathcal{O} 拼 注 予 発 \mathcal{O} 意 生 防 が を を 防 必 呼 気 び 要
- は、 見 な 高 守るようにしまし 周 齢 用が協 i 者や子 ガし تلح ŧ て注 に ょ う。 0 意 深 ** \ 7 <

意ください! 症予防を忘れないようご注③ 節電を意識するあまり、熱中

- 1 ま す \mathcal{O} 夏 が期の よう が 取 り んご注 組 電力不 健 節 康 電 4 が を を 意 意く 足 害 求 す 識 \otimes に ださ るこ 5 対 L す れ لح ぎ 7 7 \mathcal{O} る 節 11 な あ ま
- 気 る 温 ょ て 扇 う 風 P 機 理 湿 度 Þ ま 節 \mathcal{O} 工 ア 電 高 ょ コ は 1 う。 日 せ を に は 使 用 適 度 決

気てどら ん経 で乗ういが患験が んピアサポーター りだいん者をん とさ生の治 越っか ®えてきたか等 ≀たか、辛い時 ≀わからない、 断のし **町され** いお話す で り で 同じ じ者 立*が* か等、同じれい、治療中に を 伺 い場 · ま" 自分 方 分

す

隠間

岐い

地先

せ

情の励

らで

電病 合

2

3

5

6

話院わ

た病っはた

平成 27 年度 島根県がんピアサポーター相談会

がん治療を経験した仲間と 話をしてみませんか?

平成 27 年 8 月 6 日 (木)

14:00~16:00

2階講堂 隠岐広域連合立隠岐病院

修は※丨じつ者味「

す場

ト立けがす場、、

で自がち

を

身 経

か

そ

で

き

る

お

話

し

を

がん患者さん・ご家族など

了ん県る

ピア

サ

タ

研丨

す

サ

いしていい。ピアサジルがんピ

欲気と話話相談 ラ談 イは バ無 シ料 I で

し持てしす談**し** いちもて事し でにみ 報整み心少来 が理にがし T 得がな軽気よう は っくがか**だ** 守 れきたな晴っっ IJ っれた**た** ま たた

支ピ**ん** えア**ピ** るはア の事を言います。 がんの治療 がんの治療 がんの治療 がんの治療 がんの治療 をしを療い | サ "身経うト うト ポ同に験意は

おか 気に日まだ 軽話頃す にを悩 お聞み 越いを て抱 下欲え さして いいい 方る 方、 是

糖尿病教室に参加してみませんか?

方

を

ご家族や

糖 糖

尿 尿

病

で

もご ても はじ

加頂

け

· ます。

味の

ある方等

お

時

間

の 参 興 め は

ある方は、

自

由

1

持



1		日 時	内 容	講師	
	第1回	8月4日(火) 14 時~15 時	食事療法について 『夏の食事』	管理栄養士 佐々木みゆき	
à	第2回	8月 21 日(金) 14 時~15 時	運動療法について	作業療法士	
	第3回	9月 10日(木) 14 時~15 時	糖尿病と歯周病に ついて	歯科医師 金子一朗 歯科衛生士 村上春代	

て

月

日

金

開 に

催 つ

第 な

1

目

食

事

法

つ

τ

年

度

は ま

開

催

す

る

予

定

開

催

し

ず。

を

コント

ル

してい

<

付

き合

つ

τ

の

教

室

を た 血

な

方 同

数

お

た

か ま

た

台風

の

ため

来

ら

日たれ致い

火

催致

ま

す。

再 つ

度

じ ŧ

内 多

容

で

8 ら

月 れ

加

費 に

無料です。

病

での

い 合 わ せ

電病 話 院 2 1 地 域 3 5 6 連

岐

加 Ś 病 つ 手帳(ださ てご参 の 加あ える方 くだ さ は